

プログラム①

医工連携セッション2022

—福島 ESD ハンズオンセミナー2022—

【開催概要】

ふくしま医療機器開発支援センターでは、県内医師の内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の技術向上のため、「福島 ESD ハンズオンセミナー」を開催しております。

それに合わせて、今回は同セミナーの講師並びに参加いただいた先生と交流することができる「医工連携セッション2022」を開催することといたしました。「自社の製品や技術を見てもらいたい！」や「新しい製品を開発するためのニーズを見つけたい！」など、消化器内視鏡分野のものづくり案件の創出を目指します。

臨床の最前線でご活躍されておる先生方に直接相談することができる貴重な機会となっておりますので、皆さま奮ってご参加ください！



昨年度も医工連携セッションを通して、新たな製品開発のニーズ発掘や参加企業間のマッチングが実現しております！



<昨年度の様子>

【開催日時】

9月17日（土） 11：30 ～ 14：30

【開催場所】

ふくしま医療機器開発支援センター

【参加医師（講師）】

引地 拓人	先生	福島県立医科大学附属病院内視鏡診療部
中村 純	先生	福島県立医科大学附属病院内視鏡診療部
濱田 晃市	先生	総合南東北病院消化器内科
根本 大樹	先生	会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座

【プログラム】

11:30	～	12:30	集合（スケジュール確認・ブース準備）
12:30	～	13:20	企業ブース展示対応（引地先生・根本先生・受講生）
13:00	～	13:50	企業ブース展示対応（中村先生・濱田先生・受講生）
13:50	～	14:30	片付け
14:30			終了

※当日のハンズオンセミナーの進行具合によって、時間や参加者が変更となる場合がございます。

【展示方法】

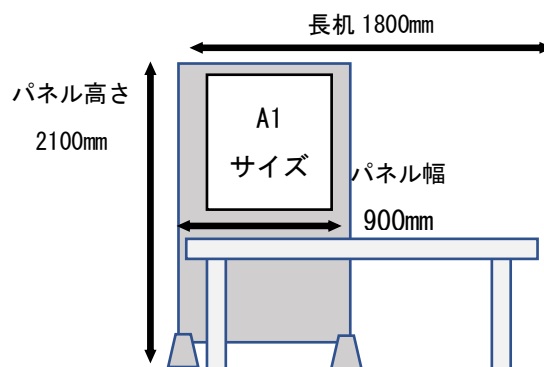
◆展示小間（1社分）は、以下のものを用意します。

- ・長机（横 1800mm × 奥行き 450mm）1 台
- ・バックパネル（横 900mm × 高さ 2100mm）1 つ
- ・社名パネル

◆参加企業様は以下のものを展示いただけます。

- ・医療関連製品や部品など
- ・企業パンフレット
- ・医療機器の説明等に必要な資料
- ・その他、先生に伺いたい製品などありましたら、ご自由にお持ちください
- ・パネルを飾る場合は、画びょうや吊り下げ金具などお持ちください
（バックパネルの厚さは約 30mm）

【 展示イメージ 】



プログラム②

第 182 回東北外科集談会

企業展示出展

【第 182 回 東北外科集談会】

本会は東北地方の市中病院から大学病院までの外科医が一堂に会し、臨床研究、症例報告、手術手技を発表し、議論を深める場として長い歴史を持っております。また、若手外科医にとっては日ごろの臨床経験から得た貴重な症例や知見の発表の場として大きな意味を持つ学術集会となっております。

【同時開催】

第 108 回 日本胸部外科学会東北地方会

第 40 回 日本血管外科学会東北地方会

第 97 回 日本小児外科学会東北地方会

○参加予定者数 約 200 名

(東北地方の外科医 他)

【展示募集要項】

○開催日時 : 2022 年 9 月 24 日(土) 9:00~17:00

○開催方式 : ハイブリッド開催

○開催場所 : ふくしま医療機器開発支援センター

住所 : 福島県郡山市富田町字満水田 27 番 8

TEL : 024-954-3504

○出展対象 : 医療機器、検査機器、医療トレーニング機器、技術、他

○開催目的 : 関連各社による器械・医薬品展示を開催し、外科系医師、特に若い外科医に対する新しい情報提供を行う場とする。

=====

【東北ブースの設置】

東北地域の医工連携への取組みや成果品を紹介し、ものづくり企業の技術力と臨床ニーズとのマッチングを図ります。医療従事者からの意見収集により、既存の医療機器の改良ニーズや新たな医療機器のアイデアなど、医療現場の課題解決に資する医療機器開発・改良へつなげるきっかけといたします。

【展示方法】

◆**展示小間（1 社分）は、以下のものを用意します。**

・長机（横 1800mm × 奥行き 900mm）1 台

・バックパネル（横 900mm × 高さ 2100mm）1 つ

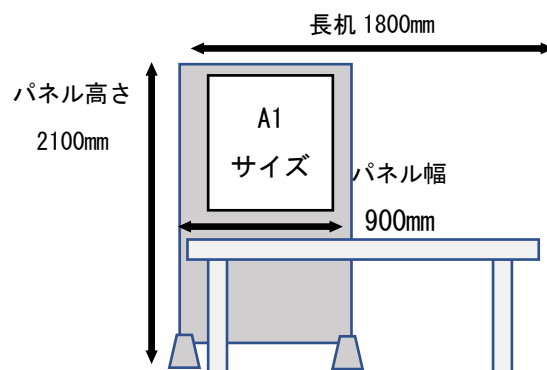
・社名パネル

◆参加企業様は以下のものを展示いただけます。

- ・医療関連製品や部品など
- ・企業パンフレット
- ・医療機器の説明等に必要な資料
- ・その他、先生に伺いたい製品などありましたら、ご自由にお持ちください
- ・パネルを飾る場合は、画びょうや吊り下げ金具などお持ちください
(バックパネルの厚さは約 30mm)

- ・製品の搬入は 9 月 23 日 (金・祝) または 24 日 (土) 8 : 30 より可能で

【 展示イメージ (予定) 】



プログラム③

医工連携セッション2022

—ふくしま肝胆膵外科ハンズオンセミナー2022—

【開催概要】

ふくしま医療機器開発支援センターでは、福島県内の若手医師の消化器外科領域手術の技術向上のため、「ふくしま肝胆膵外科ハンズオンセミナー」を開催しております。

それに合わせて、今回は同セミナーの講師並びに参加いただいた先生と交流することができる「医工連携セッション2022」を開催することといたしました。「自社の製品や技術を見てもらいたい！」や「新しい製品を開発するためのニーズを見つけたい！」など、消化器外科分野のものづくり案件の創出を目指します。

当日は「ハンズオンセミナーの見学」や「臨床の最前線でご活躍されておる先生との意見交換」などを実施できる貴重な機会となっておりますので、皆さま奮ってご参加ください！



昨年度も医工連携セッションを通して、新たな製品開発のニーズ発掘や参加企業間のマッチングが実現しております！



<昨年度の様子>

【開催日時】

10月1日（土） 10:00 ～ 14:00

【開催場所】

ふくしま医療機器開発支援センター

【参加医師（講師）】 福島県立医科大学

肝胆膵・移植外科学講座

丸橋 繁 先生	見城 明 先生
木村 隆 先生	石亀 輝英 先生
佐藤 直哉 先生	西間木 淳 先生



セミナーを受講する先生
方とも交流できます！

昨年度受講数：4名

【プログラム】

10:00	～	11:00	集合（スケジュール確認・ブース準備）
11:00	～	12:00	手術室見学（丸橋先生によるハンズオン解説）
12:00	～	12:30	休憩
12:30	～	13:00	企業ブース展示対応
13:00	～	14:00	医師との意見交換
14:00			片付け

※当日のハンズオンセミナーの進行具合によって、時間や参加者が変更となる場合がございます。

【展示方法】

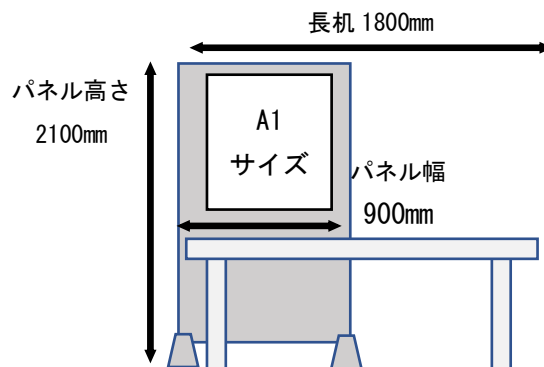
◆展示小間（1社分）は、以下のものを用意します。

- ・長机（横 1800mm × 奥行き 450mm）1 台
- ・バックパネル（横 900mm × 高さ 2100mm）1 つ
- ・社名パネル

◆参加企業様は以下のものを展示いただけます。

- ・医療関連製品や部品など
- ・企業パンフレット
- ・医療機器の説明等に必要な資料
- ・その他、先生に伺いたい製品などありましたら、ご自由にお持ちください
- ・パネルを飾る場合は、画びょうや吊り下げ金具などお持ちください
（バックパネルの厚さは約 30mm）

【 展示イメージ 】



第 35 回日本内視鏡外科学会総会 医工連携企画展示／ブースツアー

【第 35 回日本内視鏡外科学会総会】

○会長挨拶より

第 35 回総会のテーマは「Create disruptive innovation! ハードルを踏み倒して進め!」です。低侵襲手術としての内視鏡手術、そして、さらなる進化をとげたロボット手術はまさに Disruptive technology (革新的価値) と考えられますし、日本内視鏡外科学会の発展そのものが、Disruptive innovation と考えられます。そこで、ハードル＝既存の価値、既存の技術ととらえ、どんなに高いハードルでも Disruptive innovation を創造するために超えていこうという思いを込めました。このテーマに沿って、本総会では、海外からも著名な内視鏡外科医を招聘し、ロボット手術、AI による Surgical Intelligence の活用、教育システム、国際連携など、今後の内視鏡外科の新しい未来を討議するセッションを多く企画したいと思います。

○参加予定者数 約 7,000 名

(医師、技師、看護師、臨床工学技士、研究者、学生等)

【医工連携展示募集要項】

○開催期間 : 2022 年 12 月 8 日 (木) ～10 日 (土)

○開催場所 : ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)

※交通アクセス：名古屋駅からあおなみ線で約 30 分

○出展対象 : 高度なものづくり技術を有する中堅・中小企業・団体、
または地域産業支援機関

○開催目的 : 「医工連携企画」は、高度なものづくり技術を有する地域中小企業や、それら中小企業を取りまとめる地域産業支援機関が技術展示する“参加型”のプログラムです。ものづくり企業の有するユニークで優れた技術の紹介を趣旨とし、要素技術医師のニーズのマッチングを目的としています。

=====

【東北ブースの設置】

東北地域の医工連携への取り組みや成果品を紹介し、ものづくり企業の技術力と臨床ニーズとのマッチングを図ります。医療従事者からの意見収集により、既存の医療機器の改良ニーズや新たな医療機器のアイデアなど、医療現場の課題解決に資する医療機器開発・改良へつなげるきっかけといたします。

【基礎小間】

① バックパネル (ポスターパネル) W2700mm×H2400mm

② 社名板 W900mm×H180mm 40W 蛍光灯付

※ロゴ等必要な場合は別途ご指示ください。(有料)

③ 展示台 (白布巻)

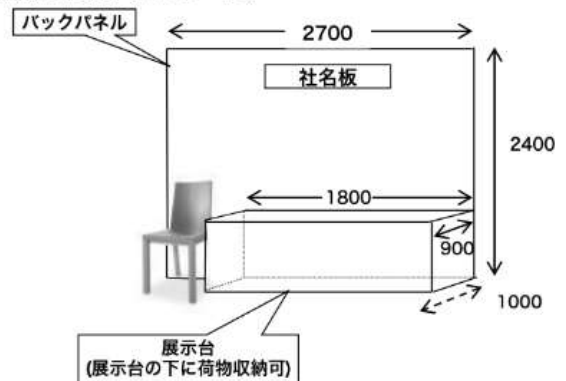
W1800mm×D900mm×H700mm

④ 椅子 1 脚

【搬入出】

- ・製品の搬入は学会前日の 12 月 7 日(水) 15 時～18 時の予定です。

基礎小間姿図 (※イメージ)



【ブースツアー】 ※東北ブースとして申込済み

医療機器開発に携わったことのある医師が「ツアーコンダクター」となり、自身のアイデアを具現化できそうな企業を探している医師や、面白い新技術のある企業を探している医師を複数名連れて、医工連携企画展示ブースをまわる企画となります。出展される企業にとっては、自社が持つ要素技術へ関心の高い医療者へ向けてプレゼンする機会となります。ツアー終了後に参加医師との名刺交換、意見交換の場が設定される予定です。

プログラム⑤

第 50 回日本集中治療医学会学術集会

医工連携企画展示出展

【第 50 回日本集中治療医学会学術集会】

○開催意義

集中治療医学および関連領域の進歩をはかり、あわせて学術文化の発展に寄与することを目的とし、集中治療医学に携わる医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師等が年に一度、一堂に会して研究成果を発表・討論し、併せて国民の福祉と健康に貢献することを目的としています。

○参加予定者数 約 8,000 名

(集中治療関連分野に携わる医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師 他)

【医工連携展示募集要項】

○開催期間 : 2023 年 3 月 2 日(木)~4 日(土)

○開催場所 : 国立京都国際会館、ザ・プリンス京都宝ヶ池

※医工連携展示は国立京都国際会館 アネックスホール ホワイエにて実施予定

※交通アクセス: 地下鉄烏丸線「国際会館駅」から徒歩 5 分

○出展対象 : 医療機器、検査機器、医薬品、医療情報機器・システム、医学書他

○開催目的 : 日本のものづくり企業等が有する高度な技術を医療現場の臨床ニーズとマッチングさせ、新医療機器の研究開発を行うこと。更に現在市販されている民需品を新たに医療分野での需要を喚起することにより、医学の発展及び日本の経済活性化に寄与することを目指しています。

=====

【東北ブースの設置】

東北地域の医工連携への取り組みや成果品を紹介し、ものづくり企業の技術力と臨床ニーズとのマッチングを図ります。医療従事者からの意見収集により、既存の医療機器の改良ニーズや新たな医療機器のアイデアなど、医療現場の課題解決に資する医療機器開発・改良へつなげるきっかけといたします。

【基礎小間】

① バックパネル W1800mm×H2100mm (ライトグレーのフェルト地)

② 社名板 (白地に黒ゴシック文字)

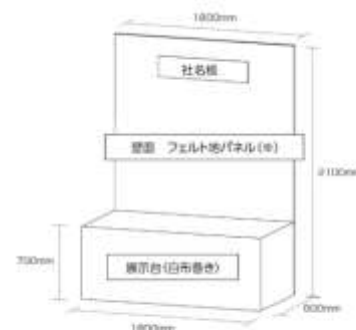
③ 展示台 (テーブルクロス付き)

④ 電源・コンセントなし ※別途有料で手配いたします

【搬入出】

・展示会の準備は学会前日の 3 月 1 日(水)の予定です。

・製品の搬入は 15 時頃よりそれぞれ可能になる予定です。



※壁面パネルへの釘の使用およびテープの使用は禁止しております。

※マジックテープ、pushpinはご使用頂けません。